

## 带状疱疹後神経痛(PHN)は「免疫力アップ」がポイント

带状疱疹後神経痛

带状疱疹はウイルスによる感染症でその原因となるのは水疱瘡を起こすウイルスです。初めて感染したときは水ぼうそうとして発症します。治った後でもウイルスは完全になくならず、背髄近くの「神経節」に隠れています。普段は体内の免疫によって抑え込まれています。加齢やストレス、疲労、冷えなどによって免疫力が弱くなると隠れていたウイルスが活発になり、神経節の神経に沿って皮膚や神経を攻撃しながら増え始めます。



通常は数週間で皮膚の赤みや発疹が改善し、それに伴って痛みもなくなりますが、人によっては痛みが長く残るケースがあります。「焼けるような」「電気が走るような」激烈な痛みで、「带状疱疹後神経痛(PHN)」と呼ばれています。ウイルスの攻撃で神経がひどく傷ついた場合におこる後遺症です。

水ぼうそうにかかったことがあれば带状疱疹発症のリスクは等しく持っていることとなります。厚生労働省の調査では五〇歳以上の带状疱疹発生率は一・〇七%、七〇歳以上は七〇歳未満に比べ一・五三倍、女性は男性に比べ一・五一倍発症しやすいことがわかりました。また、ウイルスに対する免疫力の強さを調べる皮内検査では発赤の長径が一〇ミリ未満の陰性の人は陽性の人に比べて五・六倍発症しやすい、五ミリ未満の人はPHNのリスクが一・四・三倍に高まります。つまりウイルスに対する免疫が低いほど、発症しやすい、重症化する可能性があります。あることが明らかになりました。

### ポイントは「免疫力のアップ」

現在、带状疱疹の治療では抗ウイルス薬と鎮痛剤が用いられますが、带状疱疹後神経痛では従来の鎮痛薬では対処できないことも多い状況です。

加齢などにより免疫力が低下し、それが带状疱疹後神経痛発症のリスクを高めていることは明らかなので、「免疫力のアップ」がリスク回避のためのポイントです。そこで「インターパンチ」をおすすめいたします。インターパンチは、人がウイルスや細菌などに感染したときに体内で免疫細胞に働きかけてウイルスと闘い増殖を抑制するインターフェロンを誘起させます。体内のインターフェロン

が増えるとアレルギー反応が抑制されます。

インターパンチは四種類の植物エキス(カボチャ種子、スイカズラの花、オオバコ種子、ベニバナ)で構成されており、この組み合わせがインターフェロンを最も効率よく増やし、体内の免疫力アップに貢献します。また、集中して服用することで即効性も期待できますし、植物由来なので副作用の心配もありません。

インターパンチで免疫力アップを達成し、毎日を元気に過ごしましょう。

アサヒフードアンドヘルスケア(株)

「インターパンチ」

・細粒タイプ

三〇〇包入 三、五二六円十税

六〇〇包入 六、六〇〇円十税

一八〇包入 一八、〇〇〇円十税

・粒タイプ

九〇粒入 四、四〇八円十税

一八〇粒入 八、〇〇〇円十税

五四〇粒入 二一、六〇〇円十税



「インターパンチ」についてのご相談  
ご質問は店頭だけでなく、お電話でも受け付けております。

「健康的にダイエット！」なら「マイクロダイエット」をお試しください

マイクロダイエット正規取扱店

# ゆがの薬局

賀茂郡河津町浜149-4 TEL0558-34-0150

当店ウェブサイト <http://www.yugano-ph.co.jp>

